

★キラキラ光る 元気なまち★

彩ってくださる主役は「町民の皆様」です。その町民の皆様が活躍されている模様を紹介するコーナーの第三弾!!芸術部門です。アートは想像力を高める、感性を磨く以外にも効果があり、免疫力アップや自己治癒能力を高めることが期待でき、その名も「ヒーリングアート」と呼ばれ病院などにも積極的に取り入れられています。このページで皆様に免疫力アップして頂こうということで、今回は「伊奈町美術家協会」取材させていただきました。町へのつづやきも必見です。



教育長賞

題名「満月に浮かぶ」
写真部門 佐藤清
写真は、横浜の赤レンガ倉庫背面から登りかけた満月とベイブリッジを背景にして撮影したものです。



町長賞

題名「秋の日射し」
洋画部門 渡辺正顕
秋の無線山を散歩中に見た風景を描きました。



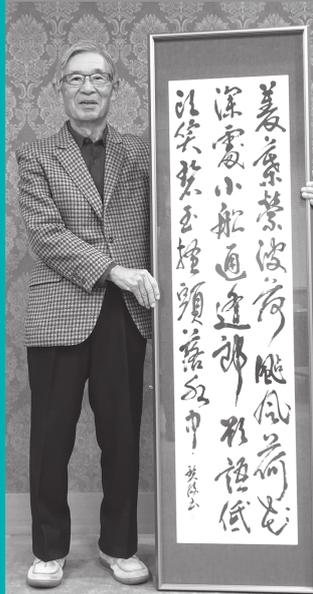
特別賞

題名「夏の涼」
洋画部門 石川英子
インドハマユウの力強い葉が大好きなのです。

※作品は表紙に掲載しています。

《美術家協会の歴史》

- 昭和43年「伊奈町美術同好会主催の美術展」初開催。
- 昭和50年文化協会、美術協会の前身である伊奈町美術文芸協会が発足。
- 昭和53年伊奈町美術家協会として文化協会の一員となり、昭和57年第1回伊奈町美術家協会展開催。
- 昭和59年、第10回より町と共同主催で「町展」が開かれる。平成元年の「町展」にて日本画・洋画・工芸・彫刻・書・写真の6部門で第45回展を開催、現在に至る。



議長賞「中国の唐代中期の詩人：白楽天（白居易）詩」
〔議長より一言〕漢詩に親しみを持ちました。多くの漢字を流れるように書かれていて行間、字間が見事でした。来年の作品も楽しみです。
〔受賞者の斎藤碧流様より一言〕高橋紫芳先生との出会いは約3年前です。今回の作品は100枚くらい練習し、完成まで2か月かかりました。賞をとったと聞いたときは驚きでした。実際に目にするまでは信じられませんでした。楷書より行書が好きで、今後の目標は字数を増やして行くことです。

《美術家協会の会員への道は》

「町展」において、優秀な賞を頂いた方が資格を得る。（現在49名所属）

《年齢層は》

60歳～70歳。

《目標や生きがいは》

現状に甘んじず更に上を目指し、そして楽しむこと。芸術は奥が深いから飽きることがない。

「町展」へ出展をお待ちしております

町展は町に在住・在勤の方ならどなたでも出展できます。難しく考えずにチャレンジしてください。



《美術や工芸など下手・苦手と 思われている方へのメッセージを》

色々なことに興味・関心を持ち、一歩踏み出す勇気と行動力です。長く続けることにより、上手や下手ではなくその方の個性がにじみ出た作品となります。まずは始めて見ることです。

《ひらめき・インスピレーションは何から得られますか？》

展覧会に行き「審美眼」を養い、古典の鑑賞や感動体験を豊富に得ることを心がけています。

新たな自分を発見！己も癒し他も癒す ヒーリングアートに挑戦してみては？ 美術家協会サークルへの連絡先は

- 〔日本画〕 立川 紀一先生 048-722-5352
- 〔洋画〕 // //
- 〔工芸〕 岩井 恭子先生 048-721-5273
- 〔書〕 高橋 紫芳先生 048-728-4438
- 〔写真〕 高橋 光一先生 048-728-4438

《町へのつづやき等》

*ここ数年「町展」への応募者が減少傾向にあります。町民の皆様への回覧板やポスターの掲示、各サークルへの応募要項の送付など行っていますが、認知されていないように感じます。今後、伊奈町の芸術祭として盛り上げるためにも行政の更なるご支援をお願いします。

*参加者不足と高齢化で今後の文化活動はどんな形がいいか思案中です。「町展」も含め運営等、考える時期かと思えます。